

【写真】「東海鉄道安全祈願と秋の小旅行」 名古屋地方本部 成田 信幸



▲SLとモクレン 静岡地方本部 菊川支部 八木一真

CONTENTS

2 寿詞

6 地本・支部だより

- 「殉戦者顕彰画像」安全祈願と秋の小旅行
名古屋地方本部 半田支部 成田 信幸
- 東濃支部・稲沢支部との合同交流会の開催
名古屋地方本部 東濃支部 柘植 慶喜
- 秋の知多半島日帰りバス観覧旅行
名古屋地方本部 春日井支部 河田 道雄
- 令和5年度旅行会開催「芸術堪能～」
東海東京地方本部 事務局
- 4年ぶりに新年会開催
静岡地方本部 藤枝支部 安藤 利夫
- 第37回ゴルフ大会を開催
東海大阪地方本部 事務局

9 投稿ページ

満100歳ゴルファーの紹介
名古屋地方本部 中津川支部 森川 孝一

10 JR東海トピックス

13 東海鉄道OB会 会員優待情報

14 お元気ですか? 未来の脳神経外科手術

15 文芸

編集後記

寿詞

このたび、白寿・米寿・喜寿を迎えられ、誠にめでたうございます。
一層の健やかと幸せをお祈りします。

寿詞会員(314名) ご芳名(敬称略・順不同・令和6年1月1日現在)

白寿

(22名)



静岡地本・東津支部
岡本 竹二

20年前に心筋梗塞を発症しましたが何と乗り越えまして、畑で野菜作り等を行っていましたが、数年前から自宅近くを散歩するのが日課となっています。最近では耳が遠くなり人々の声が聞き取りにくくなっていますが元気に過ごしています。



名古屋地本・名古屋東支部
近藤 吉郎

支部カラオケ同好会メンバーの最高齢者として開催日には、欠かさず参加しカラオケを楽しんでいましたが、最近は高齢と新型コロナウイルスには勝てず参加はできません。現在は寝たり起きたりですが、妻と共に穏やかな日々を過ごしています。



名古屋地本・東津支部
安藤 恒子

連れ合いが亡くなって早35年。ちょっと迎えが来ん! あたしやっばど嫌われちよるか? 新聞の訃報欄を見ては「ああ、また私よりも若い衆が通った。」と嘆いてはため息をつくも、こうなりやとことんどこまでもじゃ。



静岡地方本部
御殿場・小山支部
田代 年雄



静岡地方本部
御殿場・小山支部
長田 弘



静岡地方本部
沼津支部
平松 茂男



静岡地方本部
静岡支部
藤田 道朗



静岡地方本部
藤枝支部
清水 清策



静岡地方本部
藤枝支部
山崎 久美



静岡地方本部
浜松工場支部
服部 榮一郎



名古屋地方本部
上伊那支部
北原 幸洋



名古屋地方本部
上伊那支部
竹内 滋一



名古屋地方本部
三河支部
鈴木 茂夫



名古屋地方本部
三河支部
深津 康男



名古屋地方本部
半田支部
梶川 勝彦



名古屋地方本部
半田支部
平林 功



名古屋地方本部
名古屋工場支部
藤川 公



名古屋地方本部
岐阜支部
浅野 宗一



名古屋地方本部
関ヶ原支部
谷田 宗夫



名古屋地方本部
恵那支部
水野 康夫



名古屋地方本部
恵那支部
市川 芳子



名古屋地方本部
中津川支部
永谷 定男

◆東海東京地方本部

運輸営業支部

副島 廣海

施設支部

土屋 征次

兎本 彰和

電気支部

小野 勝己

柏木 伸一

◆静岡地方本部

御殿場・小山支部

伊倉 豊

三島支部

猪飼 直彦

斉藤 君子

沼津支部

佐藤 育巳

山本 喜代明

山田 佳子

富士支部

井出 勉

加藤 久江

鈴木 末子

望月 光子

身延支部

保坂 典次

望月 常晃

清水支部

望月 昭和

小笠原 房子

静岡支部

杉山 稔

大長 實

神谷 光男

伊賀 禮子

赤堀 悦子

焼津支部

萩原 英治

山口 時棋枝

藤枝支部

石原 文夫

吉永 和五

梶山 泰弘

宇都木 金吾

伊東 靖郎

島田支部

秋山 泰男

大川原 尚英

塚本 靖

菊川支部

笠原 全

松永 まさ系

袋井支部

岡本 敏雄

額田支部

榑葉 吉郎

大橋 常二

大庭 ち系子

浜松支部

中澤 元忠

外山 周巨

中澤 圭子

◆名古屋地方本部

上伊勢支部

黒田 邦男

宮下 昭夫

飯田支部

河合 あさ子

森本 悦子

中島 美里

宮下 敏子

三河支部

小林 英男

名古屋東支部

藤田 史郎

笠寺支部

二村 昌士

名古屋工場支部

野村 一郎

岐阜支部

成川 博

西濃支部

清水 与志雄

垂井支部

鹿野 己美子

高木 澄子

鈴木 節子

岐阜工務局支部

野田 美紀雄

宇野 重光

梶原 正義

春日井支部

伊藤 光治

中津川支部

可児 幸雄

蟹江支部

寺西 徳隆

津島支部

野々目 知恵子

桑名支部

若林 倂

四日市支部

加藤 正照

亀山支部

黒田 力

伊勢支部

千原 政夫

松月 精八

直轄支部

碓氷 家久

◆東海大阪地方本部

車両支部

毛勝 隆司

施設支部

高田 安喜

◆東海東京地方本部

運輸営業支部

田島 幸男
古谷 雄二
明石 洋一
和田 良治
福田 均
香川 義廣
平澤 純一
鍵和田 進
岩本 公治
大日向 清壽
田中 規雄
佐藤 信二
神 敏雄
鴨志田 正則
上條 義正
萩原 守
田嶋 昭夫
村上 修治
猪亦 正夫
渡部 一俊
飯山 泰博

車両支部

鶴賀 仁史
高橋 高保
川島 昭一
杉山 照信

施設支部

大石 信
田村 一雄
福島 徹
松村 久夫
藤崎 二三男
池田 大作
橋口 義則

電気支部

藤田 文雄

◆静岡地方本部

御殿場・小山支部

土屋 勝彦
長田 俊一
野木 美佐雄
加藤 朝久
芹澤 彰夫
横山 豊
土屋 きよ子
加藤 喜美子
勝亦 ひで子
池谷 ふみ子
齋藤 秀子
土屋 千賀子
岩田 恭子

三島支部

小川 光彦
山下 修作
高橋 美知子
澤田 友子

沼津支部

稲木 栄
小林 良枝
鈴木 規子
廣瀬 雪子
杉山 妙子
伊藤 八千代

富士支部

川窪 吉男
船村 美紀子
長橋 喜子
川窪 鈴子
小出 まさ子
八木 美代子
館林 いよ子

富士宮支部

田中 雅己
石川 光俊
飯田 正昭
木内 あや子
武川 夏江
山本 美代子

身延支部

岩松 紀
遠藤 勝見
望月 宗男
土橋 ふみえ
戸沢 はるみ
功刀 初美
橋本 由美子
有野 君子

清水支部

溝口 剛
磯部 康夫
櫻田 久恵
中西 広子
中西 久世
高山 君江
瀧 恵美子
水井 豊子

静岡支部

土屋 久男
高根澤 廣見
河邊 茂三
石川 廣美
望月 壽夫
鈴木 正子
井林 まさ子
赤池 愛子
竹下 早苗

焼津支部

大橋 徳志
望月 敏一
篠塚 純子
藤枝支部
石田 正四
安藤 利夫
岡村 哲雄
青山 忠明
大石 甲太郎

島田支部

中川 さち江
石田 よし
河合 高子

菊川支部

安藤 謙司
松井 史朗
内藤 務
鈴木 和江

掛川支部

村松 章
牧野 とみ枝

袋井支部

山田 敏明
大草 修司
竹原 才司
金原 さよ子
山田 貴子
鈴木 志津子

磐田支部

大澤 正幸
鈴木 源治
鈴木 信子
大庭 二美子
菱田 さち子
金子 和子
伊藤 さか江
寺田 すみ子

浜松工場支部

清水 重之
後藤 守
後藤 富久子

浜松支部

竹山 誠一
仲山 敏明
竹内 千重子
池富 とみ子

◆名古屋地方本部

上伊那支部
福沢 芳広
飯田支部
上野 守男
金山 三重子
鈴木 敬子
豊橋支部
春田 隆司
三浦 利充
朝倉 輝雄
三河支部
市川 澄男
名古屋東支部
藤原 清
守山支部
金子 利治
安井 哲朗
名古屋運輸車両支部
有竹 行雄
新幹線名古屋施設支部
藤野 克己
林 豊昭
高木 敏行
大川 裕士
山本 十郎
伊藤 通康
袖川 昭二
稲沢支部
万年 澄男
石山 猛
江籠 貞雄
佐野 栄
西濃支部
古澤 哲雄
林 悟
稲川 正敏
岡田 芳昭

飯井支部

藤澤 千秋
小柳 敏郎
市川 三郎
山本 博子
石山 正子
高木 早苗
橋本 信子
濃賀東支部
寺田 年克
岐阜工務局支部
岩田 定義
和田 治男
東 一成
成瀬 光利
尾原 義久
北岡 隆博
岩田 栄八郎
谷口 克巳
吉村 繁美
大同 茂由紀
寺西 章
若原 敏幸

美濃太田支部

前田 像一郎
森 実

春日井支部

小林 由紀

東濃支部

安藤 良治

恵那支部

伊藤 松美
野村 茂晴
西尾 均
宮地 登美夫

中津川支部

鈴木 陳
森川 孝一
四日市支部
柴口 正則
高木 京三
鈴鹿支部
藤尾 信夫
伊藤 古真吉
沢井 修三
津支部
野島 賢一
福島 行則
龜山支部
一見 治
北川 賢一
村田 公平
小坂 平男
伊勢支部
佐波 栄津男
西澤 良道
篠田 孝
小倉 清

◆東海大阪地方本部

運輸営業支部

中西 孝
西井 康生
白井 清行
高田 光男
竹内 祥人
吉田 敏樹
久保浦 正志
三谷 新治
東 信幸
尾田 隆
小林 八郎

車両支部

阪口 英三

施設支部

桜木 茂
大西 利美

電気支部

田中 初男



「殉職者顕彰胸像」 安全祈願と秋季小旅行



名古屋地方本部 半田支部 成田 信幸

昨年の9月末、武豊駅職員「故高橋照(ひろし)」先輩が殉職されて「70年」の節目になりました。これに合わせ、安全祈願と秋季小旅行を行いました。

当日、武豊駅前に集って行む制服、

制服の胸像の前に大府駅長始め会員12名が集まりました。

故高橋職員は、昭和28年9月25日武豊駅駅主として勤務中、襲来した台風13号の影響で、武豊駅と東成岩駅の間で護岸堤防が決壊して高潮の浸水によって線路が流失し列車の運行が危険な状態となっていました。17時34分発武豊行きの旅客列車が東成岩駅を発車したことを知った高橋職員は、荒れ狂う濁流と暴風雨の中、危険を列車に知らせるため、発煙筒を打ち振って危険信号を送りました。このため列車は危険寸前に停止し、東成岩駅まで退行したため、乗員乗客数十名の生命が救われました。しかし高橋職員は、寂れにも怒濤にのまれ悲壮な殉職を上げました。この一件は全国に報道され、23歳の若さで殉職された高橋職員の行動は「国鉄職員の鑑」と称賛され、その功績を称え、全国から寄せられた募金で翌年に胸像が建立されました。

毎年10月頃に、胸像の浄化作業と周辺の除草行っておりですが、今回は、9月の命日に、手入れすることにしました。一年の汚れを何度も手拭きで念入りに洗い落とし、胸像も台座も



▲安全祈願に参加した皆さん

常滑焼本来の朱赤色に蘇りました。改めてその尊い鉄道魂に花を供え、個人の遺徳を偲びこれからの鉄道輸送の更なる安全を全員で祈願をしました。

「秋季小旅行」は、例年、大府支部との合同で十数年間、南知多の「豊浜」で行い、新鮮な魚料理と温泉そしてカラオケ三昧で会員から大好評でありました。

今回、コロナ禍を経て4年振りに計画する中、会員の年齢等を考慮し、近場で集まりやすい場所に変更しました。

会合の海鮮料理店は、駅に近く、全て地元産で今の旬の蟹等に大満足、お互いに少々、話が聞きづらくなりましたが、懐かしい話に笑いが絶えない楽しい一時でした。

雑俳

胸像と駅で 青春(はる)を過ごした 笠仲 剛

杉本 幸雄

台風当日、隣駅の東成岩駅で勤務中であつた加藤 靖氏(令和3年11月逝去)が、当時の状況を作成した資料から抜粋

9月25日は、助役と私の2人で勤務しました。

15時頃になると、駅舎周辺もかなり荒れ模様となってきました。半田方の神戸川橋梁を見に行くと、海水が海から逆流し堤防すれすれに水面が盛り上がっていた。(堤防決壊の危険性を認めた)

17時34分発武豊行(発車時50名ほどの乗客が乗っていた)が強風の中を発車していったが、同列車は石川橋梁(当駅から尾灯を確認)付近から当駅まで退行してきた。

機関士に理由を聞くと、前方に非常信号を確認し退行してきたとのことであった。(50名の乗客中、退行してきた時点で20名程が下車し、名鉄線の駅に向かう)

機関士はそのまま半田駅に退行したいとのことであったが、15時頃の神戸川の状況を説明し、このままの退行は危険ゆえに機関車を先頭にして行ってほしい旨を説明し、機関士も納得し機関車に作業に入ろうとした矢先、海水が流れ込んできた。海水の流れはすさまじく立っている足元があるみるみる削り取られ、線路の道床も見え間に流失していった。機関車と駅

舎の間に梯子を渡しロープで固定し、乗客を一人ずつ駅舎に収容した。この間、助役と私は胸のあたりまで海水につかりながら乗客の救助にあたり、全員駅舎に収容したが、駅の中は机の天板まで浸水しており今後浸水がどこまで進むかわからず、隣接している川崎製鉄の二階建て事務所避難させた。成岩の街並みと駅の間約300メートルは完全に水没し、半田駅からの救援隊は付近で船を借り川崎製鉄に避難していた乗客を成岩の街まで送り届けた。一段落して時計をみたら22時を回っており外は、風もやみ満月がこうこうと照り映えていた。

台風一過の翌朝、高潮に蹂躪され駅構内はさんたんたる状況で列車も無残な姿をさらしていた。さいわい脱線は免れたボギーの下は1〜2メートルも道床がえぐられた線路はバシゴ状態であった。駅舎の中は、海水とトドロで手の付けられない状態であった。

◆第936列車

関ヶ原発武豊行(SL C11けん引 客車5両)

東成岩駅17時34分発、武豊駅17時39分着

◆武豊線不通期間(9月25日〜10月16日)

◆高潮潮位 武豊4m32cm

東濃支部・稲沢支部との 合同交流会の開催

名古屋地方本部 東濃支部 柘植 慶喜

前年度の支部定時総会の席上で会員相互の出会いの場を設けてはとの声が上がったのを機に、支部役員会を開催し、開田高原への日帰り小旅行を8月に開催する事に決定しました。行程は、長野県木曽町の開田日和田高原ロッジでのバーベキューと高原の特産トウモロコシ狩りを計画しました。また、他、他の支部との交流も含んではとの発案があり、今回は縁あって稲沢支部との交流を計画し、早速稲沢支部長にお話しをしたところ快く「やりましょう」との返事をいただき実現の運びとなりました。

開催当日は、好天に恵まれ木曽までの車中では和気あいあいとした話が弾み、国鉄時代から分割民営化を経て超一流会社JR東海となった中での、苦労・自慢話等々思い出話に花が咲き、会員それぞれが「職場を過ぎて今の自分が育てられた」と一致しました。

現地のバーベキュー会場で稲沢支部の皆さんと合流し、顔見知りの会員もいて、両支部の現状・諸活動の取組み等話も盛り上がったところで、高原トウモロコシ畑に向かい、園主か



▲合同交流会に参加した皆さん

らトウモロコシの種まきから収穫に至るまでの説明があり、「トウモロコシはヒゲ」本に1個の実がつくのでヒゲが多いのは実が詰まっている」など聞いた後、生でも食べられ、甘くて美味しいのを目指し、会員それぞれが畑に入り、家族、孫、親戚等への土産にと思いの数を収穫しました。

稲沢支部の皆さんとは、まだどこかでお会いする機会があるので、元気に過ごしましよとお互い声を掛け合い解散しました。

今回の交流会を通じて、会員数の減少が続く中でOB会を未長く存続していくことは大変なことですが、色々が知恵を出し合い工夫をこらして会員同士の結束を高めていくことを痛感いたしました。

秋の知多半島日帰りバス親睦旅行

名古屋地方本部 春日井支部 河田 道雄

令和5年10月10日、新型コロナの流行で支部主催の旅行中止が続いていましたが、4年ぶりの日帰りバス旅行に、会員、準会員、会員の知人等24名の有志の皆さんに参加していただき開催することができました。当日は快晴に恵まれ楽しい一日となりました。

往路はえびせんべいの里に立ち寄り数々の商品が山盛り並んでいるのに驚きました。試食コーナーでは手袋をはめてトングをもって入ります。試食用のせんべいがガラスケースの箱に並んでおり、手をかざせば蓋が感應して自動で開閉する装置に驚きました。昼食は、まるは食堂でいい、質切の部屋から伊勢湾が一望でき、小説で有名な神島が湾口に浮かび、大型貨物船がゆくり航行し、三重の山々も伊勢湾を隔てて遠くに眺められ素晴らしい景色でした。

食会前に全員で集合写真を撮り、その後、乾杯の発声後に会食を始めました。料理は大きなカニ一杯ついて、甲羅、ハサミ、足を外すのが大変で、カニを食べている間は全員一瞬無言となりました。次々に運ばれてくる刺身、焼魚、活造り、特大のエビ天ぷら、酢の物、茶碗蒸し等、盛り沢山の海の幸料理



▲旅行旅行に参加した皆さん

に大満足でした。また、同時進行のカラオケも、コロナ禍の自衛を吹き飛ばして、賑やかに続けました。最後に全員が手を繋ぎ輪になって廻りながら「星影のワルツ」を合唱。よい雰囲気でした。

帰路は海産物専門の魚太郎に寄り、活魚から干物まで何でも買うことができ、店内には食堂、地方発送受付、室外では天幕張りのテーブルが多数と大駐車場に圧巻でした。

今回の日帰り旅行は、参加していただいた多数の有志女性に満足していただき成功裏に終えることができました。次回も計画してくださいとの声があり、地域の皆さんとの交流が図れ、支部活動の活性化及び一体化に繋げることができました。参加者の皆さんに感謝です。

令和5年度旅行会開催「芸術堪能～」



ナイトクルーズの夜景▶

東海東京地方本部 事務局

12月9日、東海東京地方本部主催の令和5年度旅行会「芸術堪能～水上バスで都内の冬を感じる旅」を開催し、OB会員53名(内ご夫婦16組)のご参加をいただきました。

空気が澄んで気持ち良い冬晴れに恵まれた当日、東京駅に9時に集合し、出発前に事務局を代表して長田本部長が参加者の皆様に挨拶された後、バス2台は目的地に向かいました。



▲旅行会に参加した皆さん

最初の国立西洋美術館では特別展の開催中で、パリを代表する国立美術館ポンピドゥーセンター所蔵作を軸に、ピカソやシャガールなどキュビズム芸術運動の源流と変遷を紹介する作品を鑑賞出来ました。参加者の皆様も、概念的で力強い表現の数々に時間を忘れて見入っておられました。

昼食は、東京湾を一望できる風景が楽しめるヒルトン東京お台場のシーズカープ テラス・ダイニングで、色鮮やかで目にも美味しいクリスマスビュッフェに舌鼓を打ちました。参加者の皆様もビールやワインを召し上がり徐々にリラックスされ、懐かしい友人と積もる話に花を咲かせるなど和気藹々とした雰囲気でした。お台場では、東京タワーやレインボーブリッジを背に、日本とフランスの友好関係を象徴する自由の女神像のもとで記念撮影を行いました。

そして待望のナイトクルーズ、お台場海浜公園から浅草への60分間の遊覧でした。サンセットから夜景へとうつろいゆく情緒ある光景と、東京湾の心地よい潮風を肌で感じながら、冷えたビールで喉を潤す贅沢な時間を堪能しました。

下船時に参加者の皆様から感謝や感想のお言葉をいただいたことは、旅行会を企画した事務局としては大変嬉しい出来事でした。

東京駅に到着したバスより下車し、事務局員が見送る中、参加者の皆様は今回の再会を約束しつつ元気に帰路に着かれ、都内を巡る旅を無事終了することが出来ました。

令和6年度もOB会員の皆様にお楽しみいただける旅行会を企画してまいりますので、今年度は参加出来なかった方々も、奮ってご参加いただけますようお願いいたします。

4年ぶりに新年会開催

静岡地方本部 藤枝支部 安藤 利夫

令和6年1月21日、令和2年以来4年ぶりに藤枝支部の新年会を開催しました。今回は会員30名が参加し、来賓2名をお迎えしての賑やかな懇親の場となりました。

会場は、藤枝市文化センターのホールを使い、地区幹事の皆さんにテーブルやイスの搬入・配列等をお手伝いいただき設置をしました。また、料理は仕出し料理屋から仕入れ、飲み物は近所の酒店から配達してもらうなど、持ち込み方式で行いました。

冒頭の大石支部長の新年挨拶に続き、来賓の藤枝駅長と静岡地方本部の大橋事務局長のお二方からもそれぞれ祝辞をいただきました。

引き続き懇親会に移り、長老の梶原泰弘会員の乾杯の音頭でスタートしました。また余興は、竹野正満会員の謡(鶴亀・千秋楽)、梶原泰弘会員のギター演奏さらには向島隆夫会員の手品と続き、いずれも芸術者ぶりを会場の皆さんに思う存分に楽しんでもらいました。

会場内では、コロナ禍でなかなか会えなかった会員同士が、随所で酒を酌み交わして親睦時代の思い出話に花を咲かせ、会場内は大いに盛り上がりました。あっという間に予定の時間



▲挨拶される大石支部長



が過ぎしまい、2時間余にわたった宴の締めくくりとして沼野副支部長が中締めを行って新年会をお開きとしました。

藤枝支部の会員数は、この4年間で会員数が58名も減少し、現在132名となってしまいました。会員の高齢化(平均年齢82.5歳)が進み、おぐくなりになる方や高齢者施設への入所を理由に退会される方が増えてきたことに加え、JF社員の就業年齢延長のため新規入会者が少ないことなどがその理由です。

このような状況下ではありますが、新年会などの支部行事は今後もと継続し、会員相互の親睦を一層深めてまいります。

第37回ゴルフ大会を開催

東海大阪地方本部 事務局

令和5年10月20日、東海鉄道OB会東海大阪地方本部恒例の第37回ゴルフ大会を滋賀県東近江市の「朝日野カントリー倶楽部」で開催しました。

令和4年10月の大会までは「天津カントリー・西コース」にて開催していましたが、令和5年4月の大会から「朝日野カントリー倶楽部」にゴルフ場を変更して開催することになりました。このゴルフ場は滋賀県の湖東エリアに広がる蒲生野にレイアウトされた美しい丘陵コースです。名門の風格にあふれ、気品に満ち、ゆるやかな起伏に余裕のあるレイアウトでスケールの大きなコースとなっています。自然の池や樹木を有効にレイアウトしており、ホール毎の変化があります。グリーンも比較的大きく、微妙なアンジュレーションがあります。

当日の天気予報では午後から雨予報でしたが、参加者の日頃の行いが良いせいでしょうか折晴れ間が出て爽やかな秋風を感じながらプレーをする事が出来ました。

参加者は常連メンバーに加え、今回、東海鉄道OB会の坪内会長が東京から駆け付け、ご参加していただき総勢20名の大会となりました。プレー終了後の表彰式・懇親会では、



▲ゴルフ大会に参加した皆さん

優勝、準優勝だけでなく、ベスト、ニアピン、ドラコン賞に加え会長賞と数多くの賞を準備しました。一人で幾つもの賞をゲットされた方も賞が取れず参加賞だけになった方など様々でしたが、久しぶりの再会でお互いの健康を喜び合うとともに、プレーを振り返っての会話が弾むなど大いに盛り上がりました。最後に、次回の大会を来年の4月に予定していることを参加者に伝え、今後も継続してゴルフ大会が開催できるよう、また今回参加が叶わなかった方への呼びかけもお願ひして散会となりました。

大会の成績は以下の通りです。(敬称略)

優 勝	運輸営業支部	梨元 武治
準優勝	運輸営業支部	小林 八郎
三 位	運輸営業支部	橋詰 満

投稿ページ

満100歳ゴルファーの紹介 名古屋地方本部 中津川支部 森川 孝一

満100歳のエピソードを紹介します。

中津川市太田町在住の「桜井 實さん」がその人です。桜井さんは、大正12年11月22日中津川市落合で生まれ、18歳で国鉄に奉職、名古屋電力区世島に配属され電力関係の仕事に従事しました。

昭和18年21歳の時、海軍に召集されサイパン島の南、メルオン島に配属、ほとんどの戦友が亡くなる中、昭和21年奇蹟的に生還されました。

元職場の名古屋電力区世島に戻り昭和28年まで勤めましたが、その職場を辞め地元中津川に帰り、国鉄の下請け関連会社タカラ電気中津川出張所に入社、しばらく勤務の後タカラ電機工業所を設立し、タカラ電気の仕事をお願いするようになりました。

現在は、会社を長年に譲り悠々自適生活の中、40代で始めたゴルフが楽しみで、毎週5回ほど練習場に通い、年間16回程度コースでプレーを楽しんでいます。

曲がないドライバーと絶妙な寄せを武器として、90歳の時、瑞浪高原カントリークラブでスコア「87」が最高でした。最近では2021年3月25日、恵那峡カントリークラブで開催した恵那支部・中津川支部合同コンペにおいて98歳「97」のスコアでエピソード賞を獲得しました。

健康のためには、酒、タバコは一切やらず、毎日1時間以上のウォーキングを行う等、自己管理を徹底、習慣化したことで病気らしい病気をしたこともなく、50代60代に交じって一歩も引けを取らないよと笑みを浮かべています。

2023年11月27日「りにあ会」(中津川支部ゴルフクラブ)が満100歳誕生日に今年度3回目のコンペを行い、前日に続き桜井さんが連続優勝、表彰式と祝賀会を近くの料亭で開催し長寿を称えました。

最後に桜井さんは、ゴルフが楽しめるのも健康であればこそ、一日も長く続けられるよう願っています。と笑顔で締め括られました。



▲ゴルフコンペに参加した皆さん

安全最優先の誓い

令和5年度殉職者慰霊法要

●人事部



▲殉職者慰霊所参拝の様子

10月13日、静岡県湖西市新居町の新福寺で、丹羽社長をはじめとする当社役員とご来賓が参列し、令和4年度殉職者の間接供養と令和5年度殉職者慰霊法要を厳粛に執り行いました。鉄道業に尽力された先人の御霊に敬意を表しご冥福をお祈りするとともに、これからも当社社員一同、安全最優先で業務に邁進することを誓いました。

新福寺近くにあるJR東海殉職者慰霊所には、旧国鉄の名古屋と静岡の鉄道管理局や新幹線総局などで殉職された2,000名以上の御霊が合祀されています。年間を通して浜松地区の現業機関9箇所が協力し、清掃や植栽等を行い、慰霊所を整備しています。

殉職者のご遺族は慰霊所参拝が可能です。ご要望を受けた際は、広報部サービス相談室をご案内ください。

売上高1千億円の早期実現を目指して

(株)JR東海リテイリング・プラスが誕生

●事業推進本部

10月1日、当社子会社の東海キヨスク㈱と㈱ジェイアール東海バスセンターが合併し、(株)JR東海リテイリング・プラスが誕生しました。これに伴い、新しい社名サインの除幕式と発足式を開催しました。

来賓として参加した中村副社長より、合併準備を進めてきた関係者への感謝の言葉と、1社としての体制を速やかに固め、駅の外にも目を向けてさらなる成長を目指すことなど、激励の挨拶がありました。

「旅と暮らしとときめきのひとときを」というコーポレートスローガンのもと、お客さまに対して満足感やワクワク感を「プラス」し、早期に売上高1千億円台を実現、JR東海グループを代表するような新会社を目指していきます。



▲挨拶をする中村副社長



▲除幕式に参加した皆さん

夢のような1日

プロ野球OBとの野球ふれあい教室・超電導リニア体験乗車

●広報部



▲参加した皆さん

未来ある子どもたちに、「夢」の大切さを感じてもらいたい。そして自身の「夢」を見つけてほしい。そうした思いを形にすべく、9月16日、子どもたちを対象に、プロ野球OBとの野球ふれあい教室・超電導リニア体験乗車を開催しました。

日本野球機構(NPB)に多大なるご協力をいただき、元千葉ロッテマリーンズの星崎智也氏や元中日ドラゴンズの井端弘和氏、元読売ジャイアンツの西村健太朗氏、元東京ヤクルトスワローズの村中恭兵氏の4名が参加。抽選で招待した小学1・2年生の親子38組76名は、プロ野球OBの熱い指導のもと、総合研修センターのグラウンドで野球に汗を流した後、山梨実験センターへ移動し時速500kmの世界を体感しました。

野球大好き少年も、鉄道大好きキッズも、憧れにふれあえた夢のような1日となりました。

令和5年度

国土交通大臣表彰及び
各運輸局長表彰

●人事部



▲国土交通大臣表彰

10月16日、令和5年度国土交通大臣表彰式が東京都内で開催されました。

これは永年にわたり鉄道事業に功労のあった方に対して行われるもので、当社からは、遠藤広生さん(静岡支社運輸営業部輸送課)、石川正広さん(東京第一運輸所)、坊農勝彦さん(大阪仕業検査車両所)の3名が国土交通大臣表彰を受賞しました。

また、各地方運輸局において、下記の方々が運輸局長表彰を受賞しました。



▲運輸局長表彰(東海鉄道事業本部)



▲運輸局長表彰(新幹線鉄道事業本部)

令和5年度 国土交通大臣表彰受賞者

遠藤広生(静岡支社運輸営業部輸送課)、石川正広(東京第一運輸所)、坊農勝彦(大阪仕業検査車両所)

令和5年度 運輸局長表彰受賞者

●中部運輸局長表彰

星川幸範(岡崎駅)、後藤広之(大府駅)、鈴木高明(名古屋駅)、土屋和人(大垣駅)、大鼓和浩(下呂駅)、廣瀬雅仁(金山駅)、松村隆信(中津川駅)、竹内敬明(松阪駅)、木村享弘(刈谷保線区)、大野康晴(名古屋信号通区)、中井俊文(刈谷電気区)、中村俊実(東海鉄道事業本部管理課人事課)、小川和彦(東海鉄道事業本部運輸営業部輸送課)、古畑裕也(東海鉄道事業本部電気部管理課)、佐藤裕章(富士駅)、栗原知文(清水駅)、山田哲也(焼津駅)、鈴木伴宜(島田駅)、丸尾 浩(浜松電気区)、小野田政之(静岡支社施設部施設課)、古屋和彦(新富士駅)、野上重和(岐阜羽島駅)、鈴木義嵐(三島車両所)、加藤達也(浜松工場)、柳川仁志(静岡統括電気所)、遠山 正(名古屋統括電気所)

●関東運輸局長表彰

仲真次和也(東京第一運輸所)、松本康資(東京統括電気所 東京電気技術センター)、有屋田 淳(新幹線鉄道事業本部施設部保線課)

●近畿運輸局長表彰

富山慎一(関西支社工務部施設課)

(敬称略)



▲運輸局長表彰(静岡支社)



▲運輸局長表彰(関西支社)

地域の皆さまとともに初の本線トンネル貫通を祝う 中央新幹線第一南巨摩トンネル 貫通式

●中央新幹線推進本部

10月13日、山梨県南巨摩郡富士川町に位置する中央新幹線第一南巨摩トンネルが貫通しました。品川～名古屋間における中央新幹線の本線トンネルとして、山梨リニア実験線区間を除いて、初めての貫通です。

第一南巨摩トンネルは、2022年3月から掘削を開始し、地域の皆さまのご協力をいただきながら、約1年半かけて延長約710mを掘削しました。

当日は、富士川町長をはじめとする地元関係者を招いて貫通式を執り行い、ブレーカーという重機を用いて岩盤を貫通の様子を、工事関係者らとともにご覧いただきました。岩盤に穴が開いて光が差し込むと、約160名の出席者から大きな歓声と拍手が上がり、万歳三唱で喜びを分かち合いました。

貫通式は報道陣に公開し、貫通の瞬間の映像が全国ニュースを含む数多くの番組で報じられ、中央新幹線建設工事が着実に進んでいることを広く伝えることができました。

今後も各地で難工事が続きますが、「工事の安全」「環境の保全」「地域との連携」を重視して工事を着実に進め、「日本の大動脈と社会基盤の発展に貢献する」という経営理念を将来にわたって当社が果たし続けるために、中央新幹線建設を推進していきます。



▲工事に携わった皆さん



▲貫通の様子



▲貫通後、切口を切り広げた様子(10月27日)

地域の皆さまへの情報発信と連携強化 さがみはらリニアコンサート

●中央新幹線推進本部

10月14日、中央新幹線神奈川県駅(仮称)新設工事現場で、地域の皆さまに中央新幹線事業や工事への理解を深めていただくため、さがみはらリニアコンサートを開催しました。

本工事現場の地下約30mの掘削底面を活用したコンサート会場では、地元の高校生や当音楽クラブ等による吹奏楽の演奏、合唱を行い、掘削土の仮置き場を活用した、さがみはらリニアひろばでは、地元の高校生や地元団体によるダンス、ジャグリングのパフォーマンスが披露されました。この他、当社・施工会社・神奈川県・相模原市・地元の高校生による展示ブースを設置し、当日は、約1,900名が来場。相模原市長・丹羽社長からの挨拶もあり、当社が地域と連携して本事業を進めているという強力なメッセージを発信しました。

今後も地域との連携をしっかりと行い、地域のご理解をいただきながら安全に工事を進めていきます。



▲掘削底面を活用したコンサート会場



▲当音楽クラブ会長として挨拶する丹羽社長

いいもの探訪



I I M O N O T A N B O U

事業推進本部では、当社沿線で愛されている“いいもの”を産地直送でお届けする通販サイト「いいもの探訪」を運営しています。当社と生産者が一体となって地域活性化を目指し、各地に受け継がれてきた文化や伝統を未来へ繋いでいく取り組みです。

いいもの探訪 オリジナル 商品

いいもの探訪では、沿線で見つけた地産品の販売のほか、各メーカーとコラボしたオリジナル商品を開発しています。いいもの探訪でしか買えない、限定商品です。

新商品 東海道新幹線N700S 木のおもちゃ

木のおもちゃブランド「kiko+ (キコ)」とコラボして作った、オリジナル商品。先頭車の優美な曲線を、木を削りだして再現しました。自然な木目をそのまま生かした、木のぬくもりを感じるデザイン。電車好きのお子様におすすめなのはもちろんのこと、机や棚に飾っておしゃれなインテリアとしてもお楽しみいただけます。



人気商品 〈神奈川〉ミサキドーナツ 新幹線ドーナツセット

神奈川で人気のドーナツ専門店「ミサキドーナツ」とコラボ。東海道新幹線カラードクターイエローカラーのドーナツが入った、ドーナツ10種セットです。冷凍してあったとは思えない、ふんわり、ぷくら、それでいてモチモチな食感が楽しめます。新幹線をあしらったオリジナルボックスにてお届けします。



「いいもの探訪」ホームページ <https://e-mono.jr-central.co.jp>

商品ページでは生産者の思いや産地の風土をご紹介します。



「いいもの探訪」でお買い物を楽しんでいただける、お得なクーポンプレゼント

[300円OFF!]

300円引クーポンコード
ob2404

いいもの探訪でご購入の際、右記クーポンコードを入力いただくと、1会計から300円OFFとなります。

2024年4月30日ご注文分まで有効。
何度でもご利用可能。
※半角でご入力ください。

※写真はすべてイメージです。



未来の脳神経外科手術

信彩のふく

名古屋セントラル病院
脳神経外科 主任医長 竹林 成典



最近話題のChatGPTに、「未来の脳神経外科手術はどのようになっていますか？」と聞いてみました。すると、次のような答えが返ってきました。

1. ロボットによる手術
2. ナノテクノロジーによる治療
3. 3Dプリンティング技術による手術
4. BMIによる治療

ロボットによる手術は、外科や泌尿器科等の手術で先行しており、昨年3月からは当院でも国産初の手術支援ロボットである「hinotori」が稼働しています。ロボットによる手術は傷跡が小さいことから術後の回復が早く、入院期間が短くなるといったメリットがあり、今後は脳神経外科でも主流になっていく可能性があります。また、ナノテクノロジーを使って病気の部位に直接的に薬物を届ける治療や、3Dプリンターで作成したオーダーメイドな臓器を使った外科手術も脳神経外科以外の領域ですでに応用が進んでいます。



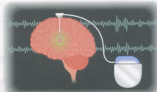
国産初の手術支援ロボット「hinotori」



BMI (ブレイン・マシン・インターフェース)

今回は、脳神経外科特有である、BMI (ブレイン・マシン・インターフェース) について詳しく説明します。BMIとは、「脳(ブレイン)と機械(マシン)をつなぎ、脳活動の情報を活用する技術(インターフェース)」です。脳に電極を植え込み、カメラから取り込んだ外界の視覚情報を直接的に脳に書き込んだり、脳の情報を読み取りロボットを動かしたりします。それによって、病気や怪我で視力を失ったり、喋ることができなくなったり、手足が麻痺してしまったりした方の機能を代替することができます。

BMIの先駆けは、パーキンソン病に対する脳深部刺激療法(DBS)に導入されており、脳からの情報を元に電気刺激の調整が行われています。既存のシステムよりきめ細かい調整が可能となり、症状の改善につながる事が期待されています。そのような最先端の治療にも当院は取り組んでいます。パーキンソン病などで手の震えや筋肉の固縮といった症状にお悩みの方、長年の薬物治療で副作用にお困りの方などがおられましたら、当院にお気軽にご相談ください。



脳深部刺激療法(DBS)

今回の原稿、ChatGPTが書いた？...それは秘密です。

名古屋セントラル病院 脳神経外科 外来受診予約 ☎052-452-3126(平日9:00~16:00)

文芸

【川柳】

【俳句】

散りてなを 両手に拾ふ 椿かな

静岡地本清水支部 吉川 武子

旅人の 駅のホテルや 吊し轡

名古屋地本岐阜工務局支部 大友 泰明

赤麗や ベンチいづれも 山へ向き

名古屋地本陶都支部 萩原 正三

老いとふ 運動会の 子の歓声

静岡地本富士宮支部 渡辺 定善

雪の下 春を待つる フキノトウ

名古屋地本三河支部 加藤 哲郎

百点に 弾んだ声で たたいまあ

名古屋地本大府支部 家田 采

鹿曲聞き たえぐられ 出る涙

名古屋地本大府支部 的場 博治

八冠を 得てもおこらぬ その魅力

名古屋地本大府支部 嶋田 勇

【短歌】

目の前に 桜の花弁 舞い降りる

明く年受し 過ぎ来し時を

水面には くるり廻れり つばくらめ

さらあつ大和 夏に真真う

静岡地本島田支部 石田 正和

世の乱れ 僕らも見えぬ 目が欲しい

名古屋地本大府支部 辻 捷夫

宅配の 走る忙し、 受領印

名古屋地本大府支部 藤井 芳雄

朝まだき 新聞配る バイク音

名古屋地本名古屋運輸支店支部 山田 愛

対話して 助けあひして 世を渡る

名古屋地本名古屋運輸支店支部 山田 孝子

編集後記

本年1月1日、能登半島を震源とする大地震により大規模被害が発生しました。被災された方々は、今なお大変なご苦労をされていることと思います。心よりお見舞いを申し上げます。

各地本・支部の定期総会シーズンとなりました。役員の方々は、開催の時期・方法等、準備をされていることと思います。一人でも多くの会員が集まれる機会を増やしていただきたいと思います。

1. 本部より

今年、白寿・米寿・喜寿を迎えられた方、迎えられる会員の皆さまを紹介させていただきます。白寿の方は顔写真を、また3名の方にはお言葉もいただきました。今後ご紹介していきたいと思えます。

2. 地本・支部だより

名古屋地方本部半田支部から「殉職者顕彰肖像」の浄化と安全祈願及び4年ぶりの秋季小旅行について、また、昭和28年9月25日台風13号の当時の状況について、隣駅、東成岩の加藤職員の記録をご紹介いただきました。東濃支部から稲沢支部との合同交流会の開催について、両支部の現状等情報交換・視察を図ることにより、「会員が減少する中での会の存続」について、会員同士の知恵・工夫及び結束を確認されました。春日井支部からは、会員、準会員、会員の知人等24名による「秋の知多半島日帰りバス旅行」を4年ぶりに開催、地域の皆さんとの交流により、支部活動の活性化及び一体化を図られました。東京地方本部から、本部主催による旅行会「芸術都～水戸」(スで都内の冬を感じる旅)の開催について、国立西洋美術館特別展の鑑賞、ヒルトン東京お台場での昼食、ナイトクルーズ60分の遊覧等、

参加者皆さんからの感謝のお言葉をいただき、今回の参加を約束いただきました。静岡地方本部藤枝支部からは、藤枝市文化センターにおいて新年会の開催。器、ギター、手品等の余興を楽しみ、4年ぶりの会員同士の思い出話に大いに盛り上がりました。引き続き会員相互の親睦を深められていかれます。大阪地方本部からは、10月に本部恒例のゴルフ大会を「朝日野カントリー倶楽部」で開催。滋賀県の湖東エリアに広がる蒲生野にレイアウトされた美しい丘陵コースで、天候にも恵まれ半年ぶりの再会で、お互いの健康を喜び合うとともに、プレーを振り返って大いに盛り上げられました。

3. 投稿ページ

中津川支部の森川さんから「満100歳のエージシューター板井實さんについて」ご投稿いただきました。40歳でゴルフを始め、90歳瑞波高原カントリーで「B7」、98歳恵那峡カントリーで「97」のスコアでエージシュートを達成され、昨年11月には「りにお会(中津川支部ゴルフクラブ)」で満100歳の誕生日に慶賀されました。板井さんは、ゴルフが楽しめるのは健康であればこそ、毎日1時間以上のウォーキングを行う等、自己管理を徹底されています。(石田)

三大都市圏を 一つの巨大都市圏に。

東京(品川)－名古屋、最速40分。

東京(品川)－大阪、最速67分。



リニア中央新幹線

早期開業にむけて全力で取り組んでいます。

詳しくはこちら ▶ <https://linear-chuo-shinkansen.jr-central.co.jp/>

